

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施名	社会福祉法人岡田福祉会 岡田こども園	施設 種別	幼保連携型認定こども園
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会		

令和3年3月9日

総 評	<p>岡田こども園は、昭和63年4月に公設民営の保育園としてスタートし、時代の変化、制度改革、保護者のニーズに応える為、令和元年4月に幼保連携型認定こども園に移行しました。舞鶴市の西に位置し、園の周辺は畑等に囲まれ自然豊かで、近くを流れる由良川の鮭を産卵から稚魚、放流まで飼育観察する等実体験からの学びを大切に、子どもの主体的活動を見守り、遊びを中心とした心豊かな保育を進めています。</p> <p>「子どもは『地域の宝』ひとり一人の宝を磨こう！育てよう！」の理念の下、子どもの主体性を大切にし、一人一人の子どもを大切に育てる保育を心がけています。</p> <p>園内には竹紙による絵画や陶器、自然物を利用した子ども達の作品で溢れ、創作意欲の向上に努めています。</p> <p>保育目標に「健康な子」「友達を大切にする子」「創る喜びを感じられる子」「自分で考え行動する子」「身近なものに愛情を持って接する子」を掲げ、日々の保育に取り組んでいます。中でも食育に力を入れており、地域の住民の協力を得て園庭の畑で種まきから収穫までの栽培菜園活動で収穫した食材、地域から頂いた食材を給食に利用したり、クッキング保育等、様々な体験を積み重ね、生きる力に繋がるよう努めています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりは全体的な計画にも記載され、民生委員、主任児童委員と共に訪問事業「こんにちは赤ちゃん」、小学校との連携継続活動、地域行事の「ふれあいサンデー」「わくわく広場」等各関係機関と連携をとり、子育て支援事業、相談事業等積極的に行っています。 ・全体的な計画に人権擁護等記載し、理念、方針、目標、子ども像に子どもを尊重した保育姿勢を明示しています。全国保育士会発行「人権擁護の為のセルフチェックリスト」「倫理綱領」等を活用し職員に配布し、子どもを尊重する保育に取り組んでいます。 ・毎年、保幼小連携継続カリキュラムを作成し、仲良しタイム学校探検、学校給食等小学校以降の生活に見通しが持てるように、小学校と交流活動を行う等、取り組んでいます。
特に改善が 望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・中・長期計画が策定されていません。計画的な施設運営のためにも中・長期計画の策定が求められます。 ・職務分掌については、運営規程に記載しています。園長不在時の権限委任を明確文書化し、職員に配布されると良いでしょう。 ・転園の場合には要録を転園先に送付しています。保育の継続性に配慮して、口頭で伝えるだけでなく、保育終了後の相談方法や担当者名を記載した文書を作成するとなお良いでしょう。

※ それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	社会福祉法人岡田福祉会 岡田こども園
施設種別	幼保連携型認定こども園
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	令和3年3月9日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a
[自由記述欄]					
・保育理念「子どもは『地域の宝』ひとり一人の宝を磨こう！育てよう！」をホームページ、入園のしおり、玄関に明示し、保護者や地域、職員に周知しています。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	b
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	b
[自由記述欄]					
・福祉事業全体の動向や経営を取り巻く環境、動向を積極的に把握し、情報収集に努めています。					
・経営環境や保育内容、組織体制など現状分析の結果、明確になった経営課題について、管理職に加え職員にも周知し、経営課題の解決、改善に向けて取り組まれると良いでしょう。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	c
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	c
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	b
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	b
[自由記述欄]					
・中・長期計画が策定されていません。計画的な施設運営の為にも中・長期計画の策定が求められます。					
・単年度の事業計画については、具体的な目標行動計画の内容で策定し、今後は中・長期と連動した単年度の事業計画を策定されると良いでしょう。					
・保護者への説明は新年度の総会で周知していますが、今後は事業計画の主なポイントについて資料を作成し、理解が深まるよう工夫されると良いでしょう。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	b
		9	② 評価結果にもとづき保取り組みむべき保育として課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	b
[自由記述欄]					
・保育の質の向上に向けて、日々計画に基づいた実践に努め、職員会議で評価見直しを行い、保育の質の向上に努めています。今後は評価基準に基づいて、園の自己評価を組織的に取り組まれると良いでしょう。					
・園の自己評価の結果、明確になった課題に対して、職員会議で検討し職員間で共有していますが、改善策や改善計画までは至っていません。今後は、改善計画を文書化し、職員参画のもと、園全体で取り組まれると良いでしょう。					

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	b
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	b
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	a

[自由記述欄]

- ・職務分掌については、運営規程に記載されています。園長不在時の権限委任を明確に文書化し、職員に配布されると良いでしょう。
- ・施設長は法令を理解するため園長研修や勉強会に参加しています。今後は遵守すべき法令のリスト化をされると良いでしょう。
- ・保育の質の向上を目指し、毎月保育の評価分析を行い課題の把握に努めています。保育を具体的にアドバイスする等、保育の質の改善を図っています。
- ・施設長は人事、財務、労務を踏まえた経営分析を行っています。有休や時間休を取得できる体制を構築し、各職員が働きやすい環境を整備し、パソコンを増設、システムの改善を考慮する等、業務の改善を図っています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	a
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	b
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b	b

[自由記述欄]

- ・質の高い保育実現の為、人材確保と人材育成の基本方針を立案し、きょうと福祉人材制度を利用し、新人、中堅の育成に取り組む等個々の能力を活かせるように取り組んでいます。
- ・法人の期待する職員像を明確にし、今後は人事基準を策定し、人事管理をされると良いでしょう。
- ・施設長は10月から定期的に個人面談により職員の要望、意見、就業状況を把握し、ワークライフバランスに配慮し、働きやすい職場作りの実現に取り組む予定です。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	a
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	a
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	a
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	a

[自由記述欄]

- ・京都福祉人材育成認証制度の研修を活用し、職員一人一人が「個人目標」を設定し、目標達成が園全体の目標に繋がるように取り組んでいます。
- ・キャリアパスに基づき研修計画を策定実施し、理念、基本方針に沿った研修が実施されています。園が必要とする専門技術や専門資格を明示し、定期的に研修計画を見直しています。
- ・正職員だけでなく、パート職員も希望すれば研修に参加できる等、全ての職員に研修の機会が確保されています。
- ・実習生受入マニュアルを作成し、実習生の「教育・保育実習」の個別指導計画に沿って実施し、終了後は担当職員により振り返りを行い、次回に活かしています。

評価分類	評価項目	き	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-3 運営の透明性の確保	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	a
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	b

[自由記述欄]

・ホームページで園の理念、基本方針、保育内容事業報告、財務諸表等を公開し、地域や小学校には園だより、給食だより等で活動内容を配布し、情報発信しています。

・公正性、透明性の為、経理規程に沿って専門家にチェックをうけています。今後は外部監査によりチェックのもと、公認会計士に内部指導を受け、経営の改善を図られると良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	a
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	a
	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	b	
	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	a	
	27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	a	

[自由記述欄]

・地域との関わりは全体的な計画にも記載され、民生委員、主任児童委員と共に、訪問事業「こんにちは赤ちゃん」、小学校連携継続活動、地域行事の「ふれあいサンデー」「わくわく広場」等、各関係機関と連携を取り、子育て支援事業、相談事業等を行っています。

・ボランティア受入姿勢を明文化し、地域の小学校の体験学習に小学校新人教諭（他校種研修）を受け入れ協力しています。

・地域の子ども相談センター等と連携を取り、諸課題に対応しています。今後は必要な社会資源をリスト化されとなお良いでしょう。

・園庭開放、未就園児親子体験（おでかけひまわり）、「子育て支援情報」を発信するなど、地域の子育て家庭に対して、多様な支援活動を行っています。

・地域の福祉ニーズを把握し、高齢者にホールを貸し出したり、地域の子育て協議会の定例会に出席するなど、地域事業の行事に園児や職員が参加しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	a
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	a
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b

[自由記述欄]

- ・全体的な計画に人権擁護等を記載し、理念、方針、目標、子ども像、子どもを尊重した保育姿勢を明示しています。全国保育士会発行「人権擁護のためのセルフチェックリスト」「倫理綱領」等を活用し、職員に配布し、子どもを尊重する保育に取り組んでいます。
- ・個人情報保護規定マニュアル、権利擁護マニュアルを策定し、子どものプライバシー保護に努めています。
- ・園の情報を舞鶴市保育所、幼稚園の利用案内に掲載し、利用者、見学者に園の方針や保育内容を、園のしおりを用い、個別に丁寧に分かりやすく説明しています。
- ・転園の場合には要録を転園先に送付しています。保育の継続性に配慮して、口頭で伝えるだけでなく、保育終了後の相談方法や担当者名を記載した文書を作成するとお良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	b
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	b

[自由記述欄]

- ・苦情解決の仕組みは玄関に掲示され、園のしおりにも掲載されています。意見箱を設置し、要望や意見にも迅速に対応しています。園全体の事業や行事に対し、アンケートを収集し、フィードバックされるとお良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	b
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	b
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	b
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	b

[自由記述欄]

- ・子どもの安心安全の対策については、ヒヤリハットの記録、事故報告書で職員に周知し、共有していますが、要因分析改善、再発防止策の検証、実施は取り組めていません。今後はリスクマネジメント規定を策定し、定期的に見直し、改善を図られると良いでしょう。
- ・感染症の予防と発生時の対応マニュアルを策定し、職員に配布周知し、感染症発生状況を掲示し、手紙などで保護者に知らせています。今後は感染症対策マニュアルを見直し、積極的な感染予防に努められると良いでしょう。
- ・大雨や警報発令時には保護者に、連絡メールで知らせる等、子どもの安全確保に努めています。今後は地元及び関係機関と連携し、避難訓練をされると良いでしょう。
- ・防犯カメラ等を設置し、不審者侵入対応マニュアルを作成していますが、マニュアルの見直しはされていません。今後は警察等と連携し、訓練をされるとお良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質 の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な 実施方法が確立している。	40	①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b	b
		41	②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	b
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉 サービス実施計画が策定されてい る。	42	①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	a
		43	②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	b
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に 行われている。	44	①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	b
		45	②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	b
[自由記述欄]						
<p>・標準的実施方法を文書化し、それに基づいて保育が実施されています。今後はOJT研修で指導し、定期的に見直し、職員に周知徹底されると良いでしょう。</p> <p>・入園前の保護者面談で作成したアセスメントに基づき指導計画を作成し、入園後も個々の発達に合わせて指導計画を作成しています。3歳未満児や配慮支援が必要な子どもに関しては、関係機関と連携し、職員会議を通して個別に支援計画、指導計画を作成しています。</p> <p>・保育の実施をPDCAサイクルに沿って実施後評価見直しをしています。反省改善までは至っていません。今後は評価を反省、見直し、改善をし、次の指導計画に繋げると良いでしょう。</p> <p>・子どもに関する記録の管理体制については、情報漏洩対策を十分検討し、書面にされるとともに様式の統一化、情報の共有化を図られると良いでしょう。</p>						

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	b	b
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	a
		48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	b	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a

[自由記述欄]

- ・全体的な計画は、保育の理念と教育保育の基本方針に基づいて作成されています。今後も、子どもたちの心身の発達や家庭、地域の実態に応じた内容で、年度末に全職員で見直し、次年度に繋げるとよいでしょう。
- ・衛生面での配慮、広々とした環境の中で、子どもたちが伸び伸び園生活が送れるように心がけています。
- ・子ども一人一人に対して寄り添った保育がなされています。子ども一人一人の個性を理解し、受容し、個々に応じた言葉がけに配慮する等、安心して過ごせる環境作りを心がけた保育を行っています。
- ・基本的な生活習慣を年齢に応じて体得できるような環境作りがなされています。基本生活習慣が年齢に応じて体得できるように室内外の用品、遊具等にも配慮、配置され一人一人の発達状況に応じた無理のない対応、援助を行っています。

評価分類	評価項目	通番	しつがい	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		52	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a

[自由記述欄]

- ・一人一人の発達、成長に応じた保育がなされていますが、より丁寧な保育を心がけると良いでしょう。
- ・連絡ノートなどにより、保護者との関わりも大切に保育するとされていますが、保育士等の連携を密にし、保育を進めるとな良いでしょう。
- ・3歳以上児は自然豊かな環境を十分活かした保育の中、子どもたちはゆったりとした雰囲気の中で生活しています。
- ・支援を必要とする子どもに対しては、関係機関や保健師等の関係者と連携し、丁寧な保育に努めています。
- ・延長保育は、合同保育や年齢別保育などの保育形態に配慮すると共に、夕方の補食を提供しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	a
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

[自由記述欄]

- ・健康管理マニュアルに基づいて、一人一人の健康、情報を得た対応ができるように完備し、3歳未満児の睡眠中にはステンレススティックを用いて呼吸の確認をしています。
- ・健康診断、歯科検診の結果は、職員間で共有し、保護者への周知、連携も細やかにしています。
- ・アレルギー、慢性疾患のある子どもについては医師の診断書に基づき対応しています。誤食のないように食器などにも配慮し、アレルギー克服希望者には、医療機関との連携指導の上、特に細やかな配慮をし、対応しています。
- ・子どもたちが「食」に興味を示すように食材の栽培や収穫を日々の保育の中で行ったり、リクエストメニューを取り入れています。
- ・調理担当者自身も子どもと共に食事をし、子どもの喫食状態を把握しています。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	b
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	b

[自由記述欄]

- ・保護者との連絡は朝夕の送迎時を利用したり、事例よっての細やかな対応がなされています。今後は職員間の共通認識として取り上げる対応をされると尚良いでしょう。
- ・園のしおりや入園式などを通して、子育て支援に対する園の取り組みを紹介し、細やかな対応をしています。
- ・虐待防止マニュアルに基づき、見逃しのないよう日々注視しており、公共機関との連絡も密にし、対応しています。
- ・常に、保育実践の改善、保育者の専門性の向上に心がけていますが、今後も保育者の主体性、保育の振り返り等をする事によって、より質の良い保育へと繋がるでしょう。